

大阪府廳ニ引渡スベキ軍需品目録

昭和二十一年一月十八日

大阪市北區絹笠町五〇番地

山水産藥社

社長 山見嘉志郎

| 品目 | 單位 | 引渡スベキ數量 | 配 | 製 |
|--------|----|---------|---------|---|
| 米 | 俵 | 六三 | | |
| 餅米 | 俵 | 三八 | | |
| 高粱 | 俵 | 二八〇 | | |
| 砂糖 | 樽 | 一五 | | |
| 醸造(サケ) | 樽 | 五四 | 一、一六一 | 一 |
| (帆立貝) | 樽 | 三〇 | 四七一 | 一 |
| (牛肉) | 樽 | 八 | 八四 | 一 |
| (青エンド) | 樽 | 一四六 | 一、八七七・六 | 一 |
| (青豆) | 樽 | 一七 | 一七八・五 | 一 |

備考 青エンド中ニホウレン草九三樽ヲ含ム

海軍

大坂地多復員

長官

一復員局長第二十二號

昭和二十一年二月四日

總務部長

總務員

庶務課長

課附

第一復員局長
第二復員局長
第三復員局長
第四復員局長
第五復員局長
第六復員局長
第七復員局長
第八復員局長
第九復員局長
第十復員局長
第十一復員局長
第十二復員局長
第十三復員局長
第十四復員局長
第十五復員局長
第十六復員局長
第十七復員局長
第十八復員局長
第十九復員局長
第二十復員局長
第二十一復員局長
第二十二復員局長
第二十三復員局長
第二十四復員局長
第二十五復員局長
第二十六復員局長
第二十七復員局長
第二十八復員局長
第二十九復員局長
第三十復員局長
第三十一復員局長
第三十二復員局長
第三十三復員局長
第三十四復員局長
第三十五復員局長
第三十六復員局長
第三十七復員局長
第三十八復員局長
第三十九復員局長
第四十復員局長
第四十一復員局長
第四十二復員局長
第四十三復員局長
第四十四復員局長
第四十五復員局長
第四十六復員局長
第四十七復員局長
第四十八復員局長
第四十九復員局長
第五十復員局長
第五十一復員局長
第五十二復員局長
第五十三復員局長
第五十四復員局長
第五十五復員局長
第五十六復員局長
第五十七復員局長
第五十八復員局長
第五十九復員局長
第六十復員局長
第六十一復員局長
第六十二復員局長
第六十三復員局長
第六十四復員局長
第六十五復員局長
第六十六復員局長
第六十七復員局長
第六十八復員局長
第六十九復員局長
第七十復員局長
第七十一復員局長
第七十二復員局長
第七十三復員局長
第七十四復員局長
第七十五復員局長
第七十六復員局長
第七十七復員局長
第七十八復員局長
第七十九復員局長
第八十復員局長
第八十一復員局長
第八十二復員局長
第八十三復員局長
第八十四復員局長
第八十五復員局長
第八十六復員局長
第八十七復員局長
第八十八復員局長
第八十九復員局長
第九十復員局長
第九十一復員局長
第九十二復員局長
第九十三復員局長
第九十四復員局長
第九十五復員局長
第九十六復員局長
第九十七復員局長
第九十八復員局長
第九十九復員局長
第一百復員局長

職兵籍、其、他、職、兵、籍、無、備、無、成、城、二、關、ス、ル、件、
 備、兵、籍、兵、籍、備、無、成、城、二、關、ス、ル、件、
 候、條、案、考、査、二、送、付、候、

兵部省現用印紙

需品部長

經理部長

出川部

課長

野

野

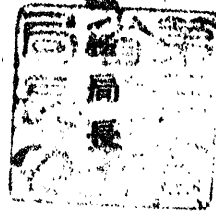
野

野

野

野

第一復員局長



0186

廣域安領第一號

昭和二十一年一月十七日

兵部廣域安領委員會

解体兵部地方廣域安領

一、兵部廣域安領委員會ニ於テ處理スベキ物件ハ原則トシテ中央ニ於ケル特別委員會ノ議ヲ經テ處分スベキモノトス

但シ必要ニ應ジ以下二項ノ場合ニ限り地方處分ヲナスコトヲ得

二、賣却金額一口金五千圓未満ノ場合ニ在リテハ兵部廣域安領委員會ノ其ノ他區擔當會社ノ責任ニ於テ處分スルコトヲ得

但シ次項ニ掲グル需要及日用品物資製造向ニ重點ヲ置キ優先處分スベキモノトス

三、賣却金額一口金五千圓以上金三万圓未満ノ場合ニ在リテハ左ニ掲グル用途及ビ特別委員會ノ指示スル用途ニ直接充當スル場合ニ限り其ノ他

0187

區擔當會社ノ責任ニ於テ處分スルコトヲ得

其ノ用途及優先順位ハ左ノ通りトス

1 食糧生産

2 石炭生産

3 輸送及通信確保

4 戦災復興

四前二項ノ處分ハ燃費防止ノ趣旨ヲ以ツテ其ノ處分先カ最終需要者

(或ハ團體)ナルコトヲ確認シタル後之ヲ爲スコトヲ要ス

三地區擔當會社ハ地方處分ヲシタルトキハ遲滞ナク兵器庫地委員會事

務局ニ處分品目、數量金額元所在場所處分先及其ノ用途ヲ明記シタル

地方處分報告ヲ提出スルモノトス

六本處地安領處分限度ニ拘ラス別途特ニ定アル物件ニ就テハ其ノ定ニヨ

ルモノトス

(備考)

買渡價格へ「買却物件」價格決定ノ方針ニ依ル

0189

昭和二十一年一月十九日

兵器處理委員會事務局處理課

第三回兵器處理特別委員會提出議案

一、處理要領案

第六號 有機ガラス處理要領

第七號 故及屑ゴム處理要領

第八號 高壓容器處理要領

第九號 ドラム罐處理要領

第一〇號 輸受處理要領

0190

一、各種兵器ヨリ生ズル有機ガラスハ三菱化成工業株式會社及藤倉化成（舊

藤倉化學）工業株式會社ニ一括拂下グルヲ原則トス

但シ引取ニ關スル責任ハ總ベテ三菱化成工業株式會社之ヲ負フモノト

シ引取配分等細部ニ關スル事項ハ兩者協議決定スルモノトス

二、渡價格ハ現場渡トシ新公正價格ヲ勘案シテ適正ナル例外價格ヲ決定

シ之ニ依ルモノトス

三、三菱化成及藤化成兩社ハ配分數額金額原所在個所配分先及其ノ用途ヲ明記

ナル報告書ヲ毎月末兵器處理委員會事務局ニ提出スルモノトス

備考

有機ガラスニ付テハスベテ中央處理ニ依リ處理要領第一號解体兵器

地方處理要領ハ拂用メサルモノトス

昭和二十一年一月十七日

兵器管理委員會

廢鐵處理ニ關スル行

一、廢鐵ハ廢兵器ヨリ生ズルモノ及鐵屑トシテ集積場所ニ集積シアルモノヲ謂フ

註一、兵器管理委員會ヲシテ「鐵屑ヤシムベキ物件ノ範圍等ニ「廢物ハ本委員會員ノ受領ノ範圍内トス」トアリ

及從ツテ廢鐵ハ「特殊物件中原材料配分方針」中ヨリ除外シアリ

二、廢鐵ハ集積販賣ヲ際キ原則トシテ金屬回收株式會社ノ集積場所ニ搬入スルモノトス

但シ作業ノ必要上擔當社構内ニ搬入解体作業ヲ行ヒタルモノニ付テハ同置場ヲ金屬回收ノ集積場所ニ代用ヤシムルコトヲ得ルモノトス

三、前項但書以外ノ場所ニ搬入ノ必要アル場合ニハ事務局金屬回收株式會

社ト協議決定ノ上之ヲ通知ス

四、地方ニ於テ搬入先要請ノ要アル場合ニハ郵務局ニ連絡スルコト

五、保有ヲ必要トスル場合ハ金種回収株式會社ヲシテ保有ヤシムコト

六、埠場販賣ハ特別委員會ノ審議ニヨリ決定ス

七、賣渡價格ハ新公定價格ニ依ル但シ新公定價格決定迄ハ便宜豫納金ヲ取

收ノ上新公定價格決定ノ上計算繰上ルモノトス

八、層級ノ種類外類ハ金種回収株式會社ノ分類規定ニ依ル

九、金種回収株式會社ノ分類規定ニ依リ難キ場合ハ別途之ヲ決定ス

十、賣買契約ハ擔當社ニ於テ需安家ト契約スルモノトス

十一、現場ニ於テ電氣爐等ニ依リインゴット化ヤル場合ト雖キ委員會トシテハ層級トシ引渡シインゴットハ其社ノ責任ニ於テ之ヲ操作スルコト

軍用要領第三號

昭和二十一年一月十七日

兵器處理委員會

故又屑、銅、鉛、鋅及其合金、軍用要領(案)

一、兵器處理委員會ニ於テ處理スベキ故又屑、銅、鉛、鋅、錫及其合金ハ廢棄器ヨリ生ジタルモノ及集積場所ニ故又屑トシテ集積シアルモノヲ謂フ

二、兵器處理委員會ニ於テ受領シタルモノハ原則トシテ左ニヨリ處分スル

モノトス

(1) 廢兵器ヨリ生ジタルモノニ在リテハ地場販賣ヲ爲ス場合ヲ除キ一括

金屬回收株式會社ニ賣渡スモノトス

(2) 集積場所ニ故又屑トシテ集積シアルモノニ在リテハ一括金屬配給統

制株式會社ニ賣渡スモノトス

三、前項(1)ノ地場販賣ハ特別委員會ノ審議ニヨリ決定ス

四、引渡方法其他具体的事項ニ關シテハ兵器區域委員會又ハ同委員會地員

擔當會社ト買受入人トノ協議ニ依ルモノトス

一、賣渡價格ハ新公定價格ニ依ル

但シ金屬供給統制株式會社及金屬回收株式會社ニ賣渡ス場合ハ一定手

數料ヲ差引キタルモノトス

昭和二十一年一月十七日

兵器廠地委員會

故又厩ノ輕金屬類ノ成分ニ關スル件（案）

一、故又厩ノ輕金屬類ハ廢兵毒ヨリ生ジタルモノ及集積場所ニ故又厩トシテ集積ヤラレタルモノヲ云フ

二、故又厩チユラルミンノ成分ハ概ネ左記ニヨル

イ 古河電氣工業株式會社
扶桑會社 脚戶製會社

六割（延鐵造加工原料）

ロ 輕金屬鑄造組合

一割（家庭器具等ノ原料）

ハ パイパー工場

三割（アルミニウム製造）

三、輕金屬鑄造組合ニ引渡スベキ故又厩ハ概ネ左記ニヨル

イ 古河電氣工業株式會社
日本輕金屬鑄造組合

ロ 扶桑金屬工業株式會社

東海、北陸 中部、近畿、四國 關西、山陽、山形、東北

近畿、四國 關西、山陽、山形、東北

關西、山陽、山形、東北

西古河電氣工業株式會社

扶桑金礦工業株式會社

株式會社神戸製鋼所

日本鋼管株式會社清水工場

昭和電氣工業株式會社橋本工場

住友化學新居原工場

西引渡變更ノ指示アリタル時ハ事務局ヨリ之ヲ通知ス

大拂下價格ハ新公定價格ニヨルモノトス



渡先ハイ概木左記ニ引渡スベキ故又隔ノ引

以上

有線ガラス處理要領（案） 兵器處理委員會

一、各種兵器ヨリ生ズル有線ガラスハ三菱化成工業株式會社及藤化成

（藤縣倉化学）工業株式會社ニ一括押下クルヲ原則トス

但シ引取ニ關スル賣日ハ概シテ三菱化成工業株式會社之ヲ負ンセ

トシ引取割合等細部ニ關スル事項ハ御座協定決定スルモノトス

二、賣價價格ハ現行渡下シ新公定價格ヲ適正ナル例外價格ヲ決

定シ之ニ依ルモノトス

三、三菱化成及藤化成兩社ハ、配分數額金無原所在箇所配分及具ノ用

→ 取費セヨ報告書ヲ毎月末兵器處理委員會事務局ニ提出スルモノト

備 考 有線ガラスニ付テハ凡テ中央處理ニテヨリ處理要領一覽表

兵器地方處理要領ハ概シテサレモノトス

故及屑ゴム處理要綱（案）

一、各機兵器ニ附屬ナル故及屑ゴム（タイヤ、チューブ、防弾用ゴム、可撓管、吸管、パツキング等）ハ全日本再生ゴム材料統制組合ニ一括拂下グルヲ原則トス

二、故及屑ゴムノ類別ハ全日本再生ゴム材料統制組合ノ分類規定ニ依ル

三、故及屑ゴムノ變渡價格ハ現場渡下シ公定價格（昭和二十年十一月二十八日附二）二局第九五七號通牒ニヨル商工大臣許可價格）ニ依ル

四、全日本再生ゴム材料統制組合ハ成分品目數量金額元所在兩所區分先及

其ノ用途ヲ明記セル報告書ヲ毎月本兵器處理委員會事務局ニ提出スル

干ノトス

備考

一、ゴムヲ第一種物件（海活用スベキ物件）トシテ區分スル場合ハ本

蔵書要録ニ據ラズ一般ノ取次ニ依ル
第 二 層 ゴ ム ノ 蔵 書 ニ 關 シ テ ハ 第 一 層 ニ ヨ リ 中 央 蔵 書 ニ 據 ル

0200

高圧容器ノ處理安価（案）

一、高圧容器ノ處理ニ關シテハ處理安価部第十一號解任兵器地方處理安価部
 二、場中「賣却金額一口金五十圓未満」トアルチ「賣却本數一口十本未
 滿」第三場中「賣却金額一口五十圓以上金三萬圓未満」トアルチ「賣
 却本數十一本以上五十本未満」トシテ處理スルチノトス

一、賣渡價格ハ現場渡トシ左記區分ニ依リ決定スルチノトス

1 直チニ使用可能ナルチノ（上）

（新公定價格ニ依リ新品ハ其ノ程度ニ應ジ公定價格ノ七割返下スコ

トヲ得）

2 修理チ安スルチノハ若クハ（中）

「バルブ」ナキチノ

（公定價格ノ五割）

8 使用不可能ナルモノ (下)

(屑混浴)

三 前二項以外ノ點ニ關シテハ解体兵器地方解埋受領ニ據ルモノトス

四 高壓容器ノ中央部分ニ關シテハ該物資需給計畫ノ配分基準率ニ準據

シ簡々ニ處理スルモノトス

0202

ドラム 罐 貯 蓄 庫 (米)

兵器庫管理委員会

一、ドラム 罐ノ 貯 蓄 庫ニ 關シテハ 該 庫 貯 蓄 庫 第一 號 解 体 兵 器 庫 地方 庫 貯 蓄 庫 第二 號 中「 實 測 金 額 一 口 金 五 千 圓 未 滿 」ト アル チ「 實 測 本 額 一 口 二 十 本 未 滿 」第 三 項 中「 實 測 金 額 一 口 金 五 十 圓 以 上 金 三 萬 圓 未 滿 」ト アル チ「 實 測 本 額 一 口 二 十 一 本 以 上 日 本 未 滿 」ト シテ 庫 貯 蓄 庫 スル チ ト ス

二、實 測 價 格ハ 現 場 渡 ト シ 左 記 處 分ニ 依リ 決 定 スル チ ト ス

- 1 直 子ニ 使 用 可 能 ナル チノ (上) 新 公 定 價 格ニ 依リ 故 品ハ 其ノ 程 度ニ 應ジ 公 定 價 格ノ 七 割 迄 下 ス コト
- 2 修 理 子 母 スル チノ (中) 公 定 價 格ノ 五 割
- 3 使 用 不 可 能 ナル チノ (下) 廢 價 格

三、前 二 項 以 外ノ 點ニ 關シテハ 條 條 兵 器 庫 地方 庫 貯 蓄 庫ニ 關ル チ ト ス

四、ドラマ艦ノ中央配分ニ關シテハ、該物發給計畫ノ配分基準ニ準據
シ、尚々ニ、麻痺スルモノトス

0204

軸受處理要領

兵器處理委員會

- 一、軸受ノ引取り機關ハ兵器處理委員會トシ兵器處理委員會ハ日精、光洋、東洋、不二越、加、五社ヲ以テ軸受處理協議會ヲ結成ヤシム
- 二、兵器處理委員會ハ軸受處理協議會ニ對シ一括拂下グルヲ原則トス但シ兵器ノ餘存ニヨリ生ズル軸受ニツイテハ別途處理スルヲ妨グズ
- 三、軍工廠保有軸受ノ調査保守引取りニ關シ軸受處理協議會ハ兵器處理委員會ニ密接ニ協力スルモノトシ實施ノ細目ニ關シテハ兩者ノ協議ニヨルモノトス

四、軸受處理協議會ノ現品引取地區別管轄管轄ハ次ノ如シ

- 北海道 日精
- 東北 日精
- 關東 日精、光洋、加

東 洋 東洋、不二越

信 越 不二越

北 越 不二越

近 畿 東洋、旭

中 國 光洋

關 東 光洋

九 州 不二越、東洋

昭和文ノ電波價格ハ新公定價格ヲ制案シ適正ナル例外價格ヲ決定シ之ニ
依ルモノトス

大輸受庫理協議會ハ調査ノ結果及庫分先人最終審議者ヲ毎月末商工省
工務局及兵務局建設委員會ニ報告スルモノトス

備 考

1 輸受庫理協議會ハソノ引取リタルモノノ庫分ニ關シテハ機械類
理委員會ノ指示ニ從フモノトス

● 輸支歳出協賛會内部經理ニ關シテハ各地區ニ通ジテ原則トシ各
入メトカーニ自家製品ヲ選兀ヤシメ外國製品ニ關シテハ各埠區分
機工場ニ引取ラシムル如ク計算上處理スルモノトス

0207

總務部

總理部

特殊物件處分大綱

中央ニ於テ具體的ニ處分ヲ決定スルハ施設（小規模ノモノヲ除ク）

官及重要ナル品目ノ物件ニ限リ其ノ他ノ物件及施設ノ具體的處分ハ地方

廳ヲシテ實施セレバ中央ハ其ノ方針ヲ示スニ止マルモノトスルコト

中央ニ於テ處分ヲ決定スベキ施設及主要物件ノ品目ハ至急研究ノ上之

ヲ決定スルコトヲ著目トシテ主要食糧（米、麥、小麥粉、雜穀及乾パン）、

特殊糧食中ノ特定期品、鹽、被服、木材、醫藥品其ノ他衛生用物資及自

給品ハ中央ニ於テ處分ヲ決定スルモノトシ至急之ヲ具體策ヲ樹立スル

地方ニ於ケル本處分ノ實施ノ圓滑適正ヲ期スル爲各地方廳ニ地方長

官ヲ中心トシ關係官衙代表者、民間有識者等ヲ委員トスル特別ノ委員

會ヲ設ケシムルコト

雜當リ主食及特殊糧食中ノ特定期品以外ノ食糧及家庭用雜品ノ處分ヲ速

0208

ニ實施セシムルコト

三 本件處分ハ聯合軍ノ指示ニ從マベキハ勿論ナルモ其ノ實施ニ當リテ
ハ(一)戰災者、遺族、外地引揚者及機遷將兵ノ救護(二)食糧ノ確保及増産
三(三)醫療救護(四)交通通信ノ復舊(五)職業輔導及教育施設ニ重點ヲ置クモノ
トスルコト

四 本件處分ハ實情ニ即シ且ツ迅速ニ行マコトヲ目途トスルコト

五 物件ノ處分ハ國又ハ公共團體ニ於テ直接使用スルモノヲ除キ公定價
格ヲ基準トスル有償交付ヲ原則トスルモ戰災者等受益者ノ性質ニ應ジ
事情ニ因リ無償交付ヲ行ヒ得ルモノトスルコト施設ノ處分ハ別途決定
ス

本件收入ハ原則トシテ民生安定ノ資ニ供スル様措置スルコト

六 歸還外征部隊將兵及外地引揚者ニ就テハ明年三月末日迄ニ於ケル所
要見込ノ物件ノ數量ヲ保留シ其ノ後ノ歸還者ハ引揚者ニ對シテハ政府
ノ責任ニ於テ別途必要ナル給與ヲ行マモノトスルコト
但シ主要食糧ニ付テハ別途措置スルコト

特殊物件處理委員會規定

(二〇一〇四次官會議)

第一條 聯合軍ヨリ引渡ヲ受ケタル特殊物件ニ關シ重要事項ヲ處理スル

タメ内閣ニ特殊物件處理委員會ヲ置ク

第二條 委員會ハ委員長及委員若干名ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 委員長ハ内閣調查局長官ヲ以テ之ニ充テ委員長ハ關係各廳高等官

ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第四條 委員會ニ幹事ヲ置ク

關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ上司ノ指揮ヲ受ケ庶務ヲ

整理ス

特殊物件處理委員會名簿

委員長 內閣調查局長官長 崎 惣之助

委員 內閣副書記官長 高木 惣吉

內閣調查局 調查官 毛里 英於克 幹事 內閣調查局 調查官 田邊 俊雄

同 右 美濃部 洋次 內閣調查局 調查官 右 新原 安郎

內務省 調查部長 大島 弘天 內務省 調查部 書記官 加藤 陽三

大藏省 國有財産部長 舟山 正吉 大藏省 國有財産部 書記官 內田 常雄

陸軍省 軍務局長 吉村 正雄 陸軍省 大臣官房 長 渡邊 武

海軍省 軍務局長 保科 善四郎 海軍省 軍務課 長 荒尾 興功

司法省 刑事局長 船津 宏 司法省 厚生部 長 吉田 英三

文部省 總務室長 田中 謙雄 文部省 總務室 主事 加藤 清一

厚生省 健民局長 伊藤 謙二 厚生省 保護課 長 小島 德雄

農林省 總務局長 楠見 義男 農林省 物動課 長 渡邊 伍良

委員

商工省總務局長 高 巖

明 達

幹 事

商工省調整課長

入 江

弘

運輸省企畫局長 小 野

哲

運輸省企畫局第一課長

今 井

研 二

逓信院總務局長 鈴 木

恭 一

逓信院需品第一課長

龍 田

嘉 藤 夫

0212

海軍兵器部設計課長官 二階スル内務官

| | | | | |
|--------|----|---------------------|---|----------------|
| 擔任事項 | 官 | 氏 | 名 | 官 |
| 全般係 | 局長 | 小園大佐、吉松中佐、田邊中佐、瀧澤中佐 | | 管内二五六五 三三五〇 |
| 通信兵器係 | 局長 | 石原大佐、石黒中佐 | | 三三三八 |
| 兵器係 | 局長 | 高橋大佐 | | 三三一四 |
| 糧食係 | 局長 | 金子中佐 | | 三〇三一 |
| 一般用品係 | 局長 | 白石中佐 | | 二三七九 |
| 燃料係 | 局長 | 原大佐 | | 二四一九 |
| 兵器一級係 | 局長 | 岩倉中佐 | | 三二二二 |
| 兵器二級係 | 局長 | 岩倉中佐 | | 二四四四 |
| 火藥係 | 局長 | 岩倉中佐 | | 二四〇九 |
| 自衛直轄係 | 局長 | 金丸中佐 | | 三二一五 |
| 施設器材關係 | 局長 | 鈴木大佐 | | 二二四三 |
| 施設器材關係 | 局長 | 角南主任佐、藤枝少佐 | | 管内一八七一 |
| 施設器材關係 | 局長 | 高橋少佐 | | 管内二二六五 |
| 施設器材關係 | 局長 | 小倉川中佐 | | 二六九三 |
| 施設器材關係 | 局長 | 折田主任佐 | | 二四〇九 |
| 施設器材關係 | 局長 | 岩田主任佐 | | 二六九七 |
| 施設器材關係 | 局長 | 佐藤主任佐 | | 管内一八七一 |
| 施設器材關係 | 局長 | 野水主任佐、杉田主任佐 | | 管内二六三一 |

海軍省設計課 電話三一三二二〇

兵器處理特別委員會之概要

一 兵器處理委員會ニ於テ受領スル兵器付之等機部品、轉活用屑、処分其他解體資材、配分ヲ決定セシムル為兵器處理特別委員會ヲ設置スルニト

二 兵器處理特別委員會、構成ハ左ノ通リトスルニト
委員長 兵器處理委員長
委員 兵器處理委員各委員

兵器處理委員長會事務局長(幹事)
内務省調査部業務第二課長(幹事)

運輸省鐵道總局局長(幹事)
陸軍省軍務局軍車課長
海軍省軍務局第一課長

商工省總務局調整課長
工務局工務課長

川 鈦小局非鉄金屬課長
川 鐵鋼課長

日 總務局整備課長(幹事)

三 兵器處理特別委員會ニ於テ處理スル事項ハ左ノ通リトスルニト
1. 兵器解體際シテノ關係ル要スル資材、決定

2. 兵器及部品等ノ轉活用ノ決定
3. 屑ノ処分ノ決定

4. 現場ニ於テノ緊急処分ノ承認
5. 其他解體資材、配分ニ關シ必要ナル事項

四 本委員會、処分スル事項中、重大ナラハルモノ、及急ヲ要スルモノ、ハ幹事タル委員ノ協議ニ依リ、處理スルニトシ、得シムルニト

五 各省關係官、統制団体等、ヲシテ必要ニシテ本委員會ニ出席スルコト得シムルニト

六 本委員會ニ關スル庶務ハ兵器處理委員會軍務局ヲシテ行ハシムルニト
備考

一 本件既分ニ關スル方針ニハ昭和二十年十月十九日附 特殊物件処分大
綱及一九四五年十月十六日附 聯合國最高司令官ヨリ日本帝國政府
ニ付スル照會書 聯合軍ヨリ日本帝國政府ニ付 渡サレタル資材補給
目及整備員ノ件ニ依ル

二 現場作業ニ關係ト急遽処分ヲ要スルトハ兵器處理委員會ノ実行機關
(五社)ノ責任ニ於テ処分セシメ事後特別委員會ノ承認ヲ受ケシムルニ
トス

三 組シニ現場會実行機關ハ事前ニ各地方ニ於テハ調査部關係
事ニ取扱機構ノ承認ヲ受ケタルヲ要ス

0215

兵器処理委員ヲシテ受領セシムベキ物件ノ範圍

一本委員ノ受領スベキ物品ハ兵器ニシテ其ノ範圍ハ左記ニ依ル

一 戰車 銃砲 航空機等攻撃的兵器ハ勿論各種整備及基地兵器其他

陸海軍ニ於テ兵器扱ヲナシ居レルモノヲ廣ク包含スルモノトス

二 前號兵器ノ部品 附屬品及 予備品並ニ此等ノ半作品其他本兵器ト關聯

ニテ用ニ供セラルモノハ之ヲ包含スルコト從テ高壓容器トシテ權等ノ受領ノ範圍トス

三 自動車 自動貨車 通信機 土木機 械ハ之ヲ除外スルモノトス但右ノ獨立シテ存

スルモノヲ謂ハ航空兵器等附屬品トシテ通信兵器如夫兵器ニ包含シ取扱モトス

二 原材料及機軸施設ハ本委員會ノ受領ノ範圍外トシテ取扱ハ左記ニ通トス

一 鉄 鋼材特殊鋼ニケルモノト 銅 亜鉛其他ノ鉄合金等 原素材ハ原則

トシテ受領ノ限ルニ但鍛鑄鋼 既ニニッ以上加工アルモノ並ニ屑物ハ本委

員會ノ受領ノ範圍内トス

二 工作機械 變壓器並ニ工廠 機械 施設及 工具ノ受領ノ範圍外トス但ニ修理用

工具等ノ消耗品ハ此ノ限ニ在ラズ

三 ワイヤロープ 鉄線 電線 釘 針 金等 鉄鋼ナニテ製品ニ付テハ本委員會ノ受

領スル兵器ト關聯スルモノハ本委員會ノ受領ノ範圍内トス

四 纖維原料 化學藥品 燃料モ原則トシテ受領ノ範圍外トス但ニ兵器ニ關

聯シ存スルゴム 硝子等ニツイテハ前記一ノ原則ニ依リ受領ノ範圍内トス

三 前記一及二ノ原則ニ拘ラズ本委員會ニ於テ受領スベキ兵器ノ集積個所ノ介存ス

ル物件ニ付テハ一括シテ本委員會ニ於テ受領シ之ヲ管理下ニ置カシムモノトス

四 彈藥ハ本委員會ニ於テ受領ス

五 聯合軍ハ地方庁ヨリ要求アル場合ハ前記諸項ニ拘ラズ之ヲ受領スル

備考

一 本受領物件ノ範圍ニ付疑義ヲ生レルトキハ地方庁ニ依テ調查部關係事務取扱

機構ノ責任者ニ於テ裁決スルモノトス

二 地方ニ於ル極ノ大口ノ兵器ニ付テハ地方庁ニ於テ便宜本委員會以外ノモノ

ヲ取扱ハシムコトアルモ妨ゲザルモノトス

解体兵器等ノ処理機構ニ関スル件 三〇三

聯合軍ヨリ交付セラルベキ廢兵器ノ解体其他ノ処理ニ付テモ原則トシテ
民間業者會ニ其ノ實行ヲ一任スルモノトシ政府トシテハ右實行ヲ援助シ
並ニ解体済資材ノ配分本件処理ニ関スル收支等ノ事項ニ関シ所要ノ監督ヲ
加フル方針ノ下ニ左記ニ依リ措置スルモノトス

一 解体兵器處理ノ為日本鋼管、日本製鐵、古河電氣、住友金屬、神戸製
鋼其他關係民間業者並ニ業者以外ノ者モ参加セシメタル委員會ヲ設ク
ル事

一 右委員會ハ鉄鋼兵器(海上特攻兵器以外ノ海上ニ在ル艦艇ノ除ク)及航空兵器
ヲ一括ニ取扱ヒ廢兵器ノ内務者ヨリノ受領、破碎、輸送、保管、解体済資材
ノ処分ノ實務ヲ行フモノトシ其ノ運用ニ當リテハ委員會ハ主トシ計畫及統判
ニ當リ實行ハ代行機關ヲレテ行ハルモノトスルコト

一 鉄鋼兵器及航空兵器ニ付夫々地域ヲ令テ擔任、代行者ヲ定ムルコト

一 右委員會ハ事務局ヲ附置セムルコト

一 解体兵器ハ内務省ヨリ右委員會、代行機關タル前記五社ニ付シ夫々
拵下ケルモノトスルコト

一 解体済資材ノ配分ニ付テハ需要者等ヨリ成ル特別委員會ヲ設置シ政
府監督ノ下ニ処分ヲ決定セムルコト

一 本件處理ニ関スル處理機關ノ收支ハプロト計算トシ政府ニ於テ之ヲ監
督スルコト

一 處理機關ノ事業經費及損失ノ補償ニ付政府ニ於テ予算的ニ措置ヲ
講スルコト

一 解体兵器ノ破碎等ニ関シ處理機關ニ於テ適當ト認ム場合雇作業者廢金屬
回收會社等ヲ利用スルヲ得シムルコト

備考 内務省ヨリ本處理機關ニ付レ拵下ケル兵器ノ範圍ハ解体ヲ要
スル廢兵器トシ其ノ具體的ノ内容ハ別途ニテ定ムルモノトス

廢兵器解体計畫ノ決定及解体濟資材ノ處分ノ決定方法

一

解体計畫ノ實行ニ當リ密着トシテ轉用スルカ層トシテ處理スルカノ決定方法（理想ト解体作業ノ現實トノ兼合ヒ）

イ

方針トシテハ可及的部品ノ轉用スル核計畫セシム

ロ

最後ノ決定ハ解体處理ニ責任ヲ負フ擔當五社ヲシテ夫々自主的ニ之ヲ爲サシム

ハ

各五社ノ決定ヲ適切ナラシムル爲左記ノ方法ヲ採ル

1

豫メ判明シ實行可能ノモノニ付テハ具體的品名ヲ通知シ置クコト（特別委員會ヲ中心トスル策案事項）

2

各社各地區毎ニ専門ノ相談機關ヲ置キ之トノ相談ノ下ニ計畫實行セシムルコト

二 解体濟資材ノ處分ノ決定

イ

スクラップノ處分ニ付テハ品種別地區別ニ決定シ豫メ通知シ置ク

之ニ因リ逐次處理セシム

ロ (スクラップ以外ノモノ) 其ノ他ノモノニ付テハ一時保管シ置キ各所在地毎ノ明細ニ付特別委員會ヲ中心トシテ其ノ配分ヲ決定スルヲ原則トス (豫メ處分ヲ決定シ得ルモノハ前記イニ準ズ)

ハ 但シ現場作業ノ關係上急速處分ヲ要スルトキハ擔當者ノ責任ニ於テ處分セシノ事後委員會ノ承認ヲ受ケシム

(備考)

特別委員會トシテハ速ニ右事項ニ付立案ノコト

0219

實行機關担任地區別並其職務表

| 地 區 | 部 會 屬 部 會 | 代 表 | 所 |
|-----|----------------------------------|----------------|--|
| 北海道 | 日鐵古河 | 取締役社長 水谷清 | 日本製鐵の輪西製鐵所内兵器処理委員會 北海道支部 |
| 東 北 | 日鐵古河 | 取締役社長 中原津 | 岩手縣釜石市兵器處理所内 日本製鐵の釜石製鐵所内 兵器處理委員會東北支部 |
| 東 關 | 鋼管古河 | 事務局長 藤澤勇次 | 東京部日本橋三室所一丁目一丁目地 日本橋三越三階 兵器處理委員會事務局 |
| 信 越 | 鋼管古河 | 所長 江原浩介 | 新潟縣沼重天山三三六六地新潟二七六 日本鋼管の新潟電氣製鐵所内 兵器處理委員會信越支部 |
| 東 海 | 鋼管佐友 | 利杖課 山本治郎 | 名古屋市港區千早字戸割五〇番地 住友金屬工業の名古屋佐友製鐵所内 兵器處理委員會東海支部 |
| 北 陸 | 鋼管佐友 | 所長 滝沢工 | 高岡市新湊三三三三番地電話新湊三三 日本鋼管の富山電氣製鐵所内 兵器處理委員會北陸支部 |
| 近 畿 | 日鐵佐友 | 購買部原料課 川村義雄 | 大阪市南之心齋橋筋一丁目三三三番地 住友金屬工業の大阪兵器處理委員會 近畿支部 |
| 四 國 | 日鐵佐友 | 月 右 | 月 右 |
| 香 川 | 日鐵神戶 | 營業課長 細川武夫 | 下関市長府町電話長府一五番地 長府神戶製鐵所内兵器處理委員會 中國支部 |
| 中 國 | 日鐵神戶 | 取締役所長 小須田勝道 | 福岡縣長崎新電話三三〇番 日本製鐵の八幡製鐵所内 兵器處理委員會九州支部 |
| 九 州 | 日鐵神戶 | 取締役所長 小須田勝道 | 兵器處理委員會九州支部 |
| 備 考 | 關東地三ノ条原下木更津力三海軍航空協会の住友金屬工業株式會社担当 | | |

水界處理委員會機構

鐵鋼部
部長 小松隆

水界處理委員會
委員長 小松隆

日鐵委員 森田憲三郎

代理 木下晴吉

村田巖

望月幸吉

鋼管委員 渡辺政人

代理 黛亮造

植田冬生

菊地義代松

古河電機委員 中小良雄

代理 上田植康

加藤三四治

非鐵金屬部會
 部長 中山 良雄

| | | | | | | | |
|------|------|------|---------|------|------|------|----------|
| 月 | 月 | 川 | 神戶製鋼所委員 | 月 | 月 | 日 | 保文金屬工業委員 |
| | | 代理 | | | | 代理 | |
| 高畑耕一 | 國廣五郎 | 楠本直美 | 田子富彦 | 塘江重賢 | 川村義雄 | 中山勳逸 | 佐伯正芳 |

0222

聯合軍最高司令部

帝國政府ニ対スル覺書(中央事務局經由)

本軍隊ヨリ受領シ且受領スベキ資材、補給品、裝備品ニ関スル件

(一) 一九四五年九月二日附本司令部一般命令第一号第六項ニ関シ日本政府ハ要求アリ

米第米國第六軍第三四軍團並ニ米國第五第七艦隊司令長官ニ對シ總テ、
武器、彈藥、爆発物、軍裝品、貯藏品及補給品其他總テ種類ノ戰用品

並ニ日本軍隊ノ作戰ニ関聯シ日本軍隊又ハ其他財産ノ引渡準備ヲ為スコトヲ希望セラル
又ハ使用ニ供セラルル如何ナル備品又ハ其他財産ノ引渡準備ヲ為スコトヲ希望セラル

「日本軍隊」トハ總テ日本及日本ノ支配下ニ地上、海上及航空部隊及軍事の及
準軍事的組織、編制又ハ部隊並ニ如何ナル場所ニアルコトヲ向テ國民義勇隊

ヲ含ム之等ノ補助部隊ヲ含ムモノトス

(一) 占領米國軍諸指官ハ本質的ニハ排他的ニ戰用又ハ好戰的演習ニ使用セラレ平時
民間使用適カラル總テノ裝備品ヲ破壊スベキコトヲ指令セラル。占領軍ノ作戰上ノ

諸要求が達セラル後ハ破損セル戰用品ヨリノ屑鉄ヲモ含メ本質的ニ戰用又
ハ好戰的演習ニ使用セラレサル日本軍隊ノ裝備及補給品ハ朝鮮ニ於ケルモノヲ

除テ日本政府ニ返還セラルベシ

日本政府内務省ハ日本管理下ニ返還セラル資材、給補品、裝備品ノ受領及
処置ノ公的機関トシテ茲ニ指定セラル

右ノ諸機関ノ處理、為日本政府ハ左記ヲ実行スベキコトヲ希望セラル

(一) 日本政府ハ日本管理下ニ在リテ所有ノ總テ補給品、資材及裝備品ノ所在目
録(一般ニ物件ガ占領米國軍ニ引渡サルベシ)集積セラレアル地矣ト合致スルヲ甲

意スベシ

(二) 日本帝國政府内務省ハ日本政府ニ返還セラル補給品、資材、裝備品ノ受領、為代表
者ヲ其第六軍及第八軍指揮官及第五艦隊司令長官ノ許ニ派遣スベシ

之等ニ受領スル為充分ナル人員ヲ日本軍隊ニ依リ引渡サレタル場所ニ準備スベシ

(三) 日本帝國政府内務省ハ受領セル物品、全部ニ関スル記録ヲ保存シ總テ補
給品資材及裝備品ノ最後ノ消費者ノモ分明ナラシムル其ノ処置ヲ明ニスベシ

(四) 貴政府ニ返還セラルベキ補給品、資材及裝備品ハ民間ノ救済ノ為ノモノニシテ
民間人ノ為ニ食料、衣料及住居(一)用、必須物質ヲ供給スル限度ニ於テ

日本民間經濟ノ復興ノ為ニ充テラルベキモノナリ

右補給品資材及裝備品ノ叙上以外ノ目的ノ為ニ使用ハ明白ニ禁止セラレ

最高司令官代理副官部高級副官補

ハロルド・フェアー 中佐

大坂地方復員局臨時事務局長 長殿

二復員局臨時事務局長



昭和二十一年三月二日

月 日 送付

第二復員大臣官房需品部長

長官

各地方復員局需品部長殿

總務部長



内務省側ヨリ糧食需品及兵隊移管ニ關スル件照會

總務部

題ノ件ニ關シテハ先般内務省ヨリ各都道府縣知事宛全般的ニ指令スト

庶務課長

上地方別ニ具体的指令ヲ發シ展旨申入アリタルニ付各需品部ニ於ケル引

課附

渡要望物件ニ就キ別紙發給ニ依リ調査作製ノ上至急送付ヲ得展

課

追而接收等ノ關係上新ニ要望物件ヲ生ジタル際ハ其ノ都度調査ヲ送付

經理部

アリ度尙總行通致ハ關係各地方事務所致ノ計ニ大進ヲ加ヘタルモノト

經理部

（別紙）

0224

經營用品（兵器）引渡要望調

| 縣川奈神 (濱里久市賀須橋縣川奈神) | | 在所 |
|--------------------|------------|---------------------|
| (町船大都倉録) | (庫倉濱里久) | 名庫倉 (名家氏) |
| (宅吉龜野小) | (長海航) (管主) | 別管主 |
| | (備品) | (備品) |
| | (艇) | (上巻槌) |
| | (個) | (個) |
| | (10) | (100) |
| | (10) | (100) |
| | (0) | (50) |
| | (1) | (10) |
| | (購買証メア困) | |
| | | 類 |
| | | 品名 |
| | | 稱數 |
| | | 在庫數 |
| | | 引渡要望數 |
| | | 差引額 |
| | | 昭和三年 年度末迄 所發數 |
| | | 記 |
| | | 事 |

備考

一 各都道府縣別ニ調製シ記註ハ艦營需品及兵器ヲ別紙トシ各倉庫一民家一毎ニ取纏ルコト

二 各倉庫（民家）在庫品ハ要不要ニ拘ラズ各長主管毎ニ備品消耗品材料品ノ順ニ全部列記ノコト

三 品名ハ艦營需品定額表（兵器海）記載ノ名稱ヲ記註ムコト

四 引渡要望數ヲ取込主義的ニ漫然ト在庫品全部トスルガ如キハ中央ニ於ケル折衝上支障極メテ大ニシテ内務省側ノ承諾ヲ得ルコト困難ニ付同數算定ニハ左ニ留意ノコト

(イ) 直ニ民需ニ轉換可能ノモノ（纖維製品、紙類等）ハ特別ノ選出ナキ限り在庫量ノ半數以下トスルコト

(ロ) 民需ニ轉換不能或ハ轉換可能ナルキ差當リ需發大ナラザルモノ等ニ關連困難ナルモノ等ハ全量要望スルニ差支ナキ各倉庫（民家）ヨリノ引渡要望數ガ所要量ヲ甚シク超過セザルコト

五 所要量ハ差當リ昭和二十一年度（二十二年三月末迄）ノ分ヲ記註

六 (一) 内ハ記註例ヲ示ス

(大 三 九)

事務局長
 地方令之位 概して 果ての二ツまで 及び九ツまで
 下

| | | | | |
|-----------|--|----------------------|------------------------|-----------------------|
| 宛 総務局長 | 内務省に引渡済衣糧ノ取下指令ニ事ニ付 逕會 首題ノ件ニ事ニ付ハ三月六日附復書第一四二号ノヲ以テ 需品部長宛 照令ニ付シテモ 擇海要員 船般乗員ニ付シテ 衣糧剩餘ノ相済 極多困難ノ折柄 時局身ヲ通シ 府特ニ引渡済ノモノヲ且 留置多 多ク 是等ノ折衝中ニモ 府特例ノ中 央事ノ指令ナク 決断ヲ為ス 容易ニ 解決セズ 且 是等 内務省 地方長官 官廳 戦災名 外地 引揚者 留置ニ 配給ニ 如何 措置セシ 後 官廳 留置ニ 是等 官房 需品 部長 改正 需品 部長 印 | 事務局長 主務 月 日 起案 | 文書 昭和二十一年三月 廿日 發 日附 | 査閱 淨書 校合 日發付 |
|-----------|--|----------------------|------------------------|-----------------------|

阪 報 第 三 七 三 號

海 軍

西大38 泰納
 0227
 (Various handwritten notes and stamps at the bottom of the page)

阪復總第三七三號

昭和二十一年三月二十四日

大阪地方復員局總務部長

第二復員省總務局長殿

内務省ニ引渡濟衣糧ノ拂下指令ニ關スル件照會

首題ノ件ニ關シテハ三月六日附阪復需第一四二號ヲ以テ需品部長宛照會セル處ナルモ掃海要員艦艇乘員ニ對スル衣糧關係ノ調達極メテ困難ノ折柄聯合軍ヲ通ジ府縣ニ引渡濟ノモノヲ最優先ニ充當スルコトニ折中ナルモ府縣側ハ昭和二十年十月二十二日内務省調發第二十九號通牒特殊物件處理要領ニ掃海ノ字句ナクソノ重要性ハ了解スルモ中央ヨリノ指令ナシトノ故ヲ以テ容易ニ解決セズ至急内務省ヨリ地方長官宛掃海隊員用トシテ戰災者ノ外地引揚者ト同等ニ優先配給スル如ク措置サレ度

(終)

寫送付先

第二復員省官房需品部長

大阪地方復員局需品部長

海軍

(不二納)

0228

大阪地方復員局長官

二復總務局第三五一號

昭和二十一年四月八日

長官

總務部長

總務部員

庶務課長

課附

需品部長

經理部長

各地方復員局長官殿

下水部

第二復員省總務局長

聯合軍對スル海軍軍需品引渡事務
ノ内務省移管ニ關スル件申進

首題ニ關シ別紙ノ通リ第二復員次官宛通知有之候條可然取計

林成度

一別紙添

寫各地方復員人事部

(終)

本指系古山
復報至一以令
甲一三

21.4.11 接受

0229

内務省發調第五三〇號

昭和二十一年三月三十一日

内務省
次官

第二復員次官殿

聯合軍ニ對スル舊日本陸海軍軍需品引渡事務
ノ内務省移管ニ關スル件

標記ノ件ニ關スル地方長官宛通牒別紙ノ逕及御察附候也

0230

内務省發調第五三〇號

昭和二十一年三月三十一日

各 地 方 長 官 殿

内 務 省 官 廳

聯合軍ニ對スル舊日本陸海軍軍需品
引渡事務ノ移管ニ關スル件

復員省機構ノ復員廳へノ改編縮小ニ伴ヒ四月一日以降從來復員省地方
機關ニ於テ實施シアリシ舊陸海軍軍需品ノ聯合軍ニ對スル引渡事務ハ
地方廳ニ於テ實施シ復員廳關係ハ之ニ協力スルコトト相成候條左記要
領ニヨリ實施相成度及通牒候也

記

一 聯合軍ニ對シ未引渡ノ軍需品ニ關シテハ之ガ「リスト」ヲ復員省關
係地方機關ヨリ地方廳ニ引継キ地方廳ヨリ聯合軍ニ引渡スコト

0231

地方廳ハ該「リスト」ニツキ品目數量ヲ檢收シ「リスト」ト現物トニ
喰滯^ヒ適合ハ復員應關係地方檢點ニ對シ「リスト」ノ訂正ヲ求メ置
クコト

二軍需品ノ聯合軍ヘノ引渡及聯合軍ヨリノ引受ノ際ハ地方廳代表ハ夫
夫舊陸海軍代表及内務省代表トシテ之ニ立會ヒ「リスト」ニ署名ス
ルコト

三復員省關係地方檢點ニシテ地方廳ニ包括サルモノアル場合ハ從來
復員省關係地方檢點ニ於テ實施シアリシ事務ハ該機關ニ於テ之ヲ行
フコト